

開業から芽生えた感謝の気持ち

くばがわ内科クリニック 久手堅 憲 史（4期生）



平成23年9月1日、クリニックを開業しました。あつと言う間にそれから一年が過ぎました。それまでの私は開業志向ではなく、ずっと勤務医を続けていこうと考えていました。自分は、多額の借金をすると、心配で夜

もおちおち眠れない性格で開業など到底無理だと思っていました。しかし、大学や関連病院など、いくつかの職場で働いている間に自分が目指す医療のあり方を徐々に考えるようになりました。そして、新しい環境へと乗り出したい気持ちになっていったのです。しかし、開業を意識してからも、いろいろな条件が整わず、数年間は案を温めていました。そんなとき、縁あって現在の場所を紹介してもらったときに決心がつかしました。それは、開業わずか7ヶ月前のことでした。それからほめまぐるしい忙しさの中で、十分な検討もままならないうちに予定の開業日を迎えたのでした。

しかし、クリニックの構成に当たっては、ぜひとも取り入れたい事がありました。X線CT装置の導入です。これは、自分にとって思い切った決断で、費用や設置のための敷地の確保などの面で負担が少なからずありました。しかし、呼吸器疾患をしっかりと見極めることができる体制を整えたことは、大きな自信になり、我ながら良い決断だったと思っています。また、人数的に余裕を持った職員配置をしました。これは、開業した先輩の先生方から、労務管理が大変だと聞いたことによります。余裕を持った体制で患者サービスも充実させたいというねらいもありました。そのかいあって、開業一年を過ぎましたが、退職する職員もなく、幸い問題なくやっています。その反面、

借入金の返済や人件費の面では、苦しい面がでてしまいました。

しかし、開業して直後から、本当に良かった！と思ったことがあります。それは、仕事をしていて感謝の気持ちでいっぱいになったことです。患者さんがわざわざ来てくださって、感謝！職員の皆さんが毎日一生懸命に働いてくれて感謝！周りの先生方からご紹介をいただいて感謝！医師会の方々にお世話いただいて感謝！まさに、感謝の毎日です。これまで勤務医のころは、言葉は悪いですが、いつもいやいや働かされている、また雑用が回ってきた、なんて気持ちばかりで、感謝の気持ちなどすっかり忘れていました。現在は、精神衛生上とてもいい生活と言えます。

けれども、現実には眼を向けると借金は一向に減らず、運転資金も減る一方です。そんなときは、お金の心配は、家内にまかせて自分はいい診療ができるように、日々心がけています。私がお金の事を心配しても、仕方がないと割り切っています。事実、昨年2倍以上の患者さんがみえているので、金銭面での心配も時間の経過とともになくなるとしています。

開業一年を経過して、それなりに手ごたえを感じる事ができました。また、自分なりの診療の形もできてきましたし、この地域で求められている診療というものも見えてきました。これらを実践していくことは、勤務医時代にできなかった自分なりの医療の集大成のように思えます。まだまだ、課題が山積みですが、やりがいを持って日々を送ることができています。

本当に皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、どうぞよろしくお願い申し上げます！